

論説

過信は禁物

特集 市場経済への移行

市場経済移行期にある諸国の鉄道の動き
ルイス・S・トンプソン 世界銀行鉄道アドヴァイザー

市場経済への移行から10年、中東欧、バルト三国、CIS の鉄道の客貨輸送量は劇的な減少を示し、鉄道は経営改革と鉄道網の規模適正化を迫られている。西ヨーロッパ鉄道と対比しつつ、南北アメリカ、日本、ニュージーランドなどの経験に照らして、これらの鉄道の今後を左右する基本問題を論じる。

移行期のハンガリー鉄道輸送
カタリン・ターンツォシュ ブダペスト工科大学
交通経済学部長

ハンガリーのマクロ経済指標は近年における全般的回復の傾向を示しているが、交通市場では、この10年間に鉄道の占有率が客貨とも激減した。鉄道の全面的合理化が進み、EU の政策を念頭において政府と鉄道との新しい関係が合意された。再建と発展を目指して長期計画が策定されたが、鉄道は過去における投資と保守の不足からまだ立ち直れないでいる。

チェコ鉄道の最近の動向
イーゲー・ハヴリチェク チェコ国鉄国際局長

チェコ鉄道(CD) は、スロヴァキアの分離の結果、1993年に成立したが、世界でも最も稠密な鉄道網の一つで、その維持改善は相当な負担を伴う。CDは困難な事態に直面しているが、全ヨーロッパの鉄道網における位置からして、EUの諸規制への適応と鉄道施設および車両の近代化は急務である。

民営化をめざすポーランド国鉄
マルチン・リピンスキ ポーランド国鉄開発投資局
主任スペシャリスト

鉄道輸送の激減に直面したポーランドでは、EUの諸規制を念頭に置いて、早くも1991年には国鉄(PKP)民営化の最初の提案がなされた。その後、第一段階の合理化として職員の大規模削減と余剰資産の処分が行われ、1997以降の第二段階では、分離された旅客・貨物・基礎施設の各部門に採算可能な中核ビジネスを確立することを目指している。最近決定した合理化指針は、さらに職員削減を進め、PKPを分割し、最終的にはほぼ完全な民営化を目指すこととしている。

市場経済に移行するブルガリア国鉄
ウラジミール・インコフ ブルガリア国鉄投資政策専門家
ステファン・パウンチョフ 元・ブルガリア国鉄施設局

ヨーロッパとアジアを結ぶ位置にあるブルガリアでは、交通基礎施設整備のための中期計画が作られ、重要な国際連絡線となる鉄道幹線の整備が含まれる。世界銀行、欧州復興開発銀行、欧州連合などの協力によって投資の優先順位と資金調達が行われている。新しい鉄道運輸法が成立すれば、鉄道の自立経営が確立し、経営成績も向上するものと期待される。

エストニア鉄道の改革と民営化
パルボ・ユヒネヴィッチ エストニア鉄道会社社長

1991年、旧ソ連からエストニアが独立し、翌年エストニア鉄道が発足した。1997年に策定された鉄道組織の再編・民営化計画に基づき、国際旅客輸送と首都タリンの近郊輸送のための会社がすでに発足し、さらに車両保有会社、貨物輸送会社の設立を目指している。同鉄道の経営成績は確実に好転しつつある。

ロシア鉄道の改革
イゴール・ユリエヴィッチ・アヴダコフ
モスクワ東洋学研究所主任研究員

ソ連崩壊以後、ロシア鉄道の輸送量は激減し、政府による鉄道投資はほとんどなくなった。このため、ロシア鉄道は生産性の低下、施設と車両の老朽化など深刻な問題に直面しているが、自由化に伴い壊滅した多数の国有企業とは異なり、今なおその使命を果たしている。シベリア鉄道をはじめ幹線の近代化とそのための資金確保、市場経済に相応しい組織改革が急務である。

中国鉄道の動向
国林 中国鉄道学会会長・元中国鉄道次官
国建華 北方交通大学(北京)大学院博士課程

鉄道網の急速な拡大があったにもかかわらず、他の交通機関の急伸のため、近年中国鉄道の市場における地位は低下している。鉄道網の拡張と近代化はさらに続くが、同時に政府からの経営分離、職員削減などの改革も中国鉄道の直面する課題である。建設プロジェクトの位置づけと評価、投資管理のありかた、運賃制度も改革されなければならないが、それらが達成されれば中国鉄道は、次世紀のはじめには輸送量、技術、経営効率などの点で世界の指導的鉄道になる。

市場経済を指向するベトナム鉄道
グエン・フー・バン ベトナム鉄道副総裁

ベトナムのドイモイ政策は同国を市場経済に導き、鉄道の改革は1989年に始まった。近年鉄道インフラと運輸部門は分離され、運輸部門の中はさらに三つの単位に分けられた。現在提案されている新経営モデルには、線区別原価計算と小規模な自立性の高い経営組織などが含まれる。

もう一つの視角から 東京の自転車族
ロバート・ハンコック 日英技術翻訳家

学生の自転車が溢れる英国ケンブリッジから東京に移り住んで15年、自転車を愛する英国人翻訳家が東京で見いだす自転車文化は、ヨーロッパのそれとは非常に違って見える。自転車を通じて見たユニークな日本文明批評。

今日の鉄道技術 8 安全輸送を支える信号システム
高重哲夫 鉄道総合技術研究所主幹研究員

今日の鉄道技術を概観するシリーズの第8回。鉄道総合技術研究所の専門家が、列車運転の安全を支える信号技術について解説する。

トピックス 1999年3月から5月まで

写真特集 日本の鉄道博物館